

# シンフォニー

地域と医療が奏でる♪

NO.  
**52**  
September

年3回発行(1月・5月・9月)



おかげさまで  
創立40周年

SINCE 1982



# 40th anniversary

当院は本年5月1日に創立40周年を迎えることができました。

これもひとえに、日頃から当院を支えてくださっている  
地域の皆さまのおかげと、職員一同で感謝申し上げます。

当院は昭和57年に「東大宮病院」として見沼区東大宮に設立されました。初代院長の鈴木弘之先生は大変な人格者で、職員と患者さんの信頼を集めながら病院を発展させました。平成16年に2代目院長に就任された坂本嗣郎先生は広い見識と先見性を持ち、当院を地域の中核的な役割を担う急性期病院へと変貌させました。平成27年に現在の場所に移転する際に名称を「彩の国東大宮メディカルセンター」と改称し、それまでの慢性期病棟や回復期リハビリ病棟を廃止して、集中治療室、手術室、救急室などの急性期部門を充実させました。またがん診療にも力を入れ、放射線治療部門、PET装置、さいたま市初の緩和ケア病棟の立ち上げなども行なっております。

## // 中核病院にふさわしい高度な医療を提供

令和元年1月に3代目院長に就任した私は、この路線をさらに発展させてきました。まず取り組んだのは医師の増員です。この3年半で整形外科と麻酔科の常勤医を2名から7名に増員し、また他の診療科においても、脳血管内治療など専門的な治療を行う医師を数多く招聘することができました。結果として現時点での医師数は91名に達しています。また看護師をはじめ、薬剤師、リハビリ療法士、栄養士、検査技師、放射線技師、臨床工学技士などについても増員を進め、9月現在の常勤・パート職員数は約900名になっており、中核病院にふさわしい高度の医療を提供しているものと自負しております。



院長 藤岡 丞

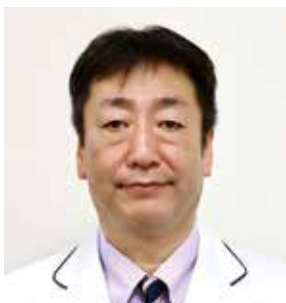
増員するだけでなく、各職種の人材育成にも力を入れています。全職種で「ラダー」と呼ばれる段階ごとの能力評価システムを整備し、新人からベテランまで目標を設定して自己研鑽に取り組んでいます。毎年難度の高い資格を取得した職員を表彰しており、認定看護師や専門技師を次々と輩出しています。また医療安全部門と感染管理部門に専従職員を2名ずつ配置しており、彼らを中心に、各部署に置かれた専任スタッフが活発に活動しています。



## /// これからも質の高い医療を提供していきたいと思えます。

これらの取り組みの結果はさまざまな場面で発揮されていますが、ここで一つ紹介したいのは、泌尿器科における「ロボット支援手術（ダビンチ手術）」の導入です。2021年4月に開始したこの手術の導入にあたっては、関係する各職種でチームを作って、入念な事前の研修やシミュレーションを繰り返しました。泌尿器科の医師たちも労を惜まず、前病院でのダビンチ手術の豊富な経験に基づいて、チーム全員が不安なく手術に参加できるようにリードしてくれました。その結果として、1年という短期間で100件の手術を、合併症なく安全に行うことができました。現在もどんどん症例を積み重ねていますが、手術を受けた患者さんからたくさんの喜びの声をいただいています。

これからも職員一同で力を合わせて、質の高い医療を提供していきたいと思えます。「患者さんも職員も、みんなが笑顔の病院」に近づけるよう、さらに努力を続けていきます。ご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。



形成外科 部長

山本 有祐

2022年4月より、形成外科の常勤医として着任いたしました。

私たち形成外科医が臨床で求められる役割は「1.熱傷外科医」「2.皮膚・皮下腫瘍外科医」「3.ER救急外科医」「4.微小血管外科医」「5.再建外科医」「6.創傷外科医」「7.美容外科医」としての働きです。

## 1

## 熱傷外科医

やけどを負ったとき、どの科に受診すれば良いのか判断に困ることがあると思います。やけどの範囲や深さで必要な治療も変わります。治った後も瘢痕（キズあと）や拘縮（ひきつれ）が残り、機能的なことや見た目も心配になります。

## 2

## 皮膚・皮下腫瘍外科医

体表に腫瘍ができたり、あざがあつたりすると悪性かどうかの心配や、見た目のことが気になります。手術となると傷跡も心配になります。

## 3

## ER救急外科医

外科系の救急外来患者さんの多くは、体表のけがで来院されます。その中でも顔面など露出する箇所の場合、きれいに治るか不安になります。しかし、皮膚を広範囲に失ったり、指を切断したりするような外傷では適切な対応ができる施設は少ないのが現状です。

## 4

## 微小血管外科医

顕微鏡を用いて、切断された体の一部を微小血管吻合、神経縫合により再接着します。癌の切除や臓器移植などでは切除・損傷された血管を再建する必要があります。

## 5

## 再建外科医

外傷や癌の切除によって、機能面において、また顔や乳房などに見た目の障害を生じることがあります。

## 6

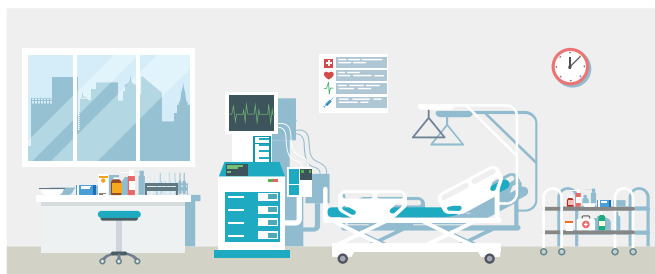
## 創傷外科医

褥瘡や虚血性・糖尿病性の足壊疽、放射性潰瘍、骨髄炎など難治性の潰瘍が多く存在しています。これらに対して適切な治療が受けられず長年苦しんだり諦めていたりする人も少なくありません。

## 7

## 美容外科医

高齢化に伴う目が開けにくくなる眼瞼下垂症、ワキガが気になる、ピアスのあとが盛り上がりケロイドとなる、乳頭が出てこないので授乳に困る、手術や外傷の傷が引くなど、実は保険診療の対象となる場合もあります。



これらの問題や心配を受け止め、ベストな解決策を提案し実践するのが形成外科の仕事です。さらにdoctor's doctorの側面もあり、多くの診療科医師から多種多様な相談を受け、チームアプローチで治療を行っています。

私たちは、周辺にお住まいの皆様や、医療従事者の方々の様々な要望にお答えできるよう準備して参りますので末永くよろしくお願い申し上げます。



上尾中央総合病院にて



看護部主任 関口 美穂

看護師特定行為研修を修了し2021年5月より  
特定看護師として活動しています。

特定看護師とは… -----  
医師又は歯科医師の判断を待たずに、医師の包括的  
指示のもと、一定の診療の補助（特定行為）を行うこ  
とができる看護師のことです。  
-----

私は集中治療室に所属しており、主に動脈カテーテルを挿入し血液ガス分析の実施や、人工呼吸器から早期に離脱できるよう設定の調整を行っています。

看護師が特定行為を実践するメリットは、常に患者さんのそばにいる看護師だからこそ患者さんにとってより良いタイミングで介入できることです。タイムリーな特定行為の実施は症状の悪化や進行を防ぎ、早期回復に繋がると考えています。

集中治療室には急性期の集中治療を要する様々な疾患の患者さんが入院されています。病態が刻一刻と変化していくなか、医師の思考過程や診断の手法を用いて病態をアセスメントすることで、速やかな治療に繋がります。また、看護的視点と医学的視点を併せ持つ特定看護師がチームのキーパーソンとなることで、治療方針を理解し、患者さんの生活背景にあわせた医療提供が期待できます。多職種が協働し、患者さんにより良い医療提供ができるようこれからも尽力していきます。



## 薬剤師のつぶやき..

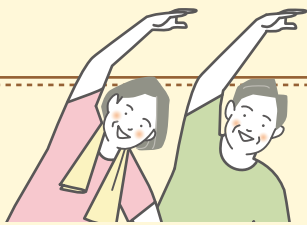
本当に必要？ 実は…とても大事!!

## お薬手帳のお話

お薬手帳はお持ちですか？お薬手帳は「母子手帳」と同じでとても大切な手帳です。この手帳を確認する事で、アレルギー歴や副作用歴、お薬の重複や飲み合わせ・使用歴など、治療を行う上でとても大切な情報がわかります。病院や薬局毎に手帳を使い分けるのではなく、1冊にまとめて使用してください。病院、薬局、入院するときなどに、1冊にまとめたお薬手帳を使用する事で、薬を安全に使用する事ができます。

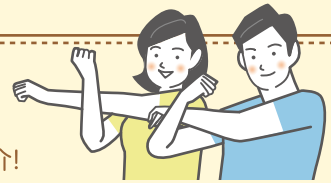
また、患者さんによっては、調剤薬局に処方箋を提出するときにお薬手帳も一緒に出す事で、ちょっぴり安くなる場合もあります。是非、お薬手帳を最大限に活用してください。





# 健康たいそう講座

当院リハビリテーション科スタッフがおすすめの体操をご紹介します!



## ≪ 腰の痛みでお悩みはありませんか? ≫

### 腰痛セルフチェック



腰を曲げて痛い場合 ▶ 腰を伸ばす運動

腰を伸ばして痛い場合 ▶ 腰を曲げる運動

腰の運動

+

全身運動

が効果的

### 腰の運動

各体操を  
10~15回1セットで  
1日2~3セット  
行いましょう



#### 運動を行う際の注意

この運動で痛みが増す時は速やかに中止し、理学療法士・医師などにご相談ください

#### ① 伸ばす運動



##### 腰そらし

- うつ伏せの状態から肘をついて息を吐きながら胸と腰を反らして5秒間とめましょう
- ゆっくり戻して、同じ運動を繰り返しましょう
- 痛みの出ない範囲で行いましょう

#### ② 曲げる運動



##### 足かかえ

- 息を吐きながら、片足を抱えて膝を胸に近付けて20秒間とめてください
- 次に、反対の足も同じように行なってください
- お腹の力を抜いて、お尻や腰を伸ばします

#### ③ 伸ばす運動 / 曲げる運動



##### お尻あげ

- 息を吐きながらお尻を5秒間持ち上げましょう
- 身体と足が平行になるまで持ち上げましょう
- 太ももではなく、お尻に力を入れましょう

#### ④ 伸ばす運動 / 曲げる運動



##### 四つ這いex

- 大きく息を吸いながら背中を丸めましょう
- 息を吐きながら背中を反るようにしましょう
- 腰はあまり動かさずに胸を動かしましょう

### 全身運動

全身運動としてウォーキングを取り入れましょう。

#### ウォーキングのポイント!

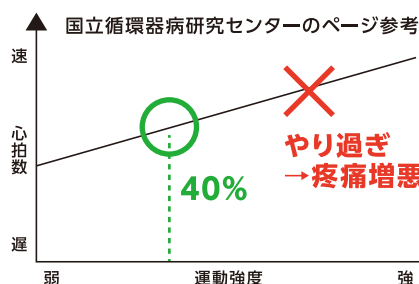
- ・遠くを見るように歩く
- ・腕を大きく振る
- ・やや大股の歩幅で歩く
- ・1日15分~20分程度
- ・少し汗ばむ程度
- ・無理なく適度な強度が重要
- ・毎日継続が重要!!



やりすぎに注意

心地よい速度で歩くことでも、十分効果があります。

おすすめ速度→心拍数の40%



40%運動負荷目安

年齢	心拍数
20代	122
30代	118
40代	114
50代	110
60代	106

※安静時心拍数70で算出

(McDonough SM, Clin J Pain 29:972-81, 2013)

# 栄養アラカルト


## 食を通して患者さんを支え、栄養サポート

病院食は、制限が多い、味が薄いとマイナスイメージがありますが、患者さんの食事改善のための指導媒体として、見て、食べて、目安を覚えることに大いに役立っています。また美味しく食べて頂くために、献立評価、食事満足度調査などを行い、日々献立改善に向けて取り組んでいます。つらい入院生活の中で、食べることは楽しみであり、患者さんにご満足頂けるよう、連日の選択メニューの導入、定期的な行事食、ご当地自慢の郷土料理食等を提供しています。



## 栄養は健康な体を作るうえで必要不可欠です。そして治療を行う上でも必ず栄養を考えます。

当院の入院患者さんには、過栄養と低栄養が二極化してみられることが多々あり、現代社会の中での栄養障害と思われる。どちらの場合も、栄養バランスや栄養量等の改善が必要となりますが、自身で改善することはなかなか難しいのが現状です。当院では入院・外来患者さんともに、疾患治療上、食改善が必要な場合や、食事が食べられない方や低栄養がみられる場合等、対象者に合わせて栄養指導を行っています。身近な食生活を振り返り、食習慣を見直すことは、疾病の軽快や元気に生活するうえでとても重要となります。習慣を改善することは時間がかかりますが、患者さんの生活状況にあわせて個別に指導を行い、サポートしています。栄養指導をご希望の方はかかりつけ医にご相談ください。



栄養指導内容一部

糖尿病食、腎臓病食、高血圧食、心臓病食、脂質異常食、潰瘍食、消化管術後食、嚥下食、がんサポート食、低栄養改善食など

栄養指導資料やサンプル

～ 地域の医療機関様へ ～

栄養指導のご紹介について、  
詳細はコチラまで  
お気軽にお問い合わせください。

当院病診連携室  
**048-665-6115** (直通)

## 近隣施設紹介



### 医療法人社団幸祥会 東整形外科

東整形外科では上記の理念のもと、地域の皆様が安心して生活できるよう職員一同日々の診療にあたっております。無床のクリニックとして県内最大級規模でリハビリテーションを提供可能な外来診療に加え、訪問診療による地域に根ざした医療を提供させていただいております。

大学病院の教授、准教授、講師等による診療も行っており、高度専門的な治療が行なえるクリニックとして皆様のお役に立てれば幸いです。

医療人たるの本分に徹し  
日に新たな挑戦と謙虚な至誠で  
自主責任経営のもと  
共存共栄の精神をもって  
地域社会の安心と健康に貢献します

医療機関名	医療法人社団幸祥会 東整形外科
住所	さいたま市見沼区東大宮5-34-25
電話番号	048-682-1011
理事長	大津 嘉章
外来時間	【平日】午前8:45～12:00 午後14:15～18:30 【土曜】午前8:45～12:00 午後13:15～17:30
休診日	日曜・祝日
駐車場	41台



# 消化器がんのロボット手術を開始

副院長・外科部長

金 達浩

これまで当院の外科では、「傷が小さく、体に優しい低侵襲手術」として、消化器のがん手術（胃がん、大腸癌など）に対する腹腔鏡手術を埼玉県内でも最も早く導入し、近年では消化器外科でも最も難易度の高い肝臓がん、膵臓がんに対しても腹腔鏡手術を積極的に行ってきました。この度、最先端の低侵襲手術である「ロボット支援下内視鏡手術」を消化器がん手術（膵臓がん、結腸がん、肝臓がん）に導入いたします。

当院は2021年4月から第4世代のロボット支援手術システムである「ダビンチX」を導入し、泌尿器科領域ではすでに100例をこえる手術を安全に行っている実績があります。「ダビンチX」は、遠近感のある3Dハイビジョン画像のもとで最大14倍に拡大した視野で手術する臓器を見ることができ、執刀する医師の手の動きを忠実に再現しながら人間の関節を上回る可動域を備え、しかも手ぶれを補正する機能も持つ4本のアームによって、極めて精密な手術を行うことが可能になります。

ロボットを操作するのは執刀する外科医であり、高い技術を必要とすることは言うまでもありませんが、当院の外科には、ビデオによる厳格な手術手技の審査を経て認定される「内視鏡外科技術認定医」（4名）、「肝胆膵外科高度技能専門医」（2名）が在籍しています。これまで多数の腹腔鏡手術、高難度がん手術を行ってきた経験を活かし、麻酔科医・手術室看護師・臨床工学技士などチーム一丸となって、皆さまにより安全で負担のない手術を受けていただけるよう努めてまいります。御興味のある方はぜひお気軽にお問い合わせ下さい。



## 診療実績

(2022年4月～2022年7月平均)

入院稼働率	91.0%	救急搬送件数	470件/月
1日平均入院患者数	265.7人	手術件数	265件/月
平均在院日数	15.4日	紹介患者数	795件/月
1日平均外来患者数	538.8人		

## 病院理念

私たちはホスピタリティの精神で患者さまと感動を共有し、高度の急性期医療で地域に貢献します。



## 基本方針

1. 職員ひとりひとりの成長を支援する
2. 医療の質を高める努力を継続する
3. すべての顧客（ステークホルダー）の満足度を高める
4. 健全な経営を行う

## 交通案内図



JR	宇都宮線・湘南新宿ライン・上野東京ライン 「土呂駅」東口より 徒歩約11分
東武アーバンパークライン	「大宮公園駅」より 徒歩約9分
自動車	首都高速埼玉新都心線「さいたま見沼」ICより 約18分 東北自動車道「岩槻」ICより 約21分

